

臨時農業生産情報

(暴風及び融雪に関する技術対策)

平成25年4月5日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方気象台発表(4月4日16時30分)の「発達する低気圧に関する青森県気象情報第1号」によると、低気圧が急速に発達しながら日本海を北東に進み、7日は南よりの風が強まり、大荒れとなる見込みです。

今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

1 共通の融雪対策

- (1) 急激な融雪に伴い、崩壊の恐れがある農地や林地、農道や林道等及び増水中の水路では、事故に巻き込まれないよう十分注意するとともに、異常を発見した場合は、市町村等へ連絡する。
- (2) 気象情報に十分に注意を払うとともに、増水中の河川付近での作業は行わないようにする。

2 りんご等果樹

- (1) 風による枝ゆれなどで、雪害等による折損部が拡大しないよう、支柱等で固定する。
- (2) 支柱への結束状況を再点検し、ゆるいものは再度結束する。
- (3) ぶどうのハウス施設や垣根等は、マイカ線等の締め直しや支柱等による補強を行う。
- (4) 浸水した園地では、速やかに排水する。

3 ハウス(水稻育苗、野菜・花き)

- (1) ビニール等被覆資材が飛ばないようにマイカ線などで補強するとともに、ハウスが倒壊しないよう支柱を入れる。
- (2) ハウス内に融雪水が停滞、流入しないよう、ハウスの周囲に排水溝を設けるなど、排水対策を徹底する。

4 畜産

- (1) 畜舎等は、破損を防ぐため、支柱等で補強するとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。
- (2) ロールベールサイレージは、ブルーシートなどで覆いストレッチフィルムの破損を防ぐ。
- (3) 畜舎や飼料庫への融雪水の浸水は、家畜の飼育環境の悪化につながるため、必要に応じて除雪や溝きりなどによる排水を実施する。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ 西館主幹 (水稲) 農産園芸課稲作振興グループ 鈴木主幹 (畑作・野菜、花き) 農産園芸課野菜・畑作物振興グループ 藤川主査 (畜産) 畜産課経営支援グループ 上野技師 (林地・林道) 林政課治山・林道グループ 佐々木主査 (農地・農道・水路) 農村整備課防災・積算グループ 佐藤主査
電話番号	(りんご等果樹) 直通 017 - 734 - 9492、内線 3261 (水稲) 直通 017 - 734 - 9480、内線 3457 (畑作・野菜、花き) 直通 017 - 734 - 9481、内線 3461 (畜産) 直通 017 - 734 - 9496、内線 3276 (林地・林道) 直通 017 - 734 - 9524、内線 3305 (農地・農道・水路) 直通 017 - 734 - 9556、内線 3366
報道監	農林水産部 八桁農商工連携推進監 内線 3181

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンや携帯電話にメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。